クボタロータリ専用機

取扱説明書（補足説明）

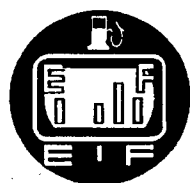
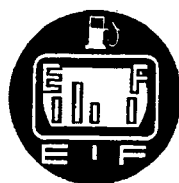
ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

Kubota

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

R ・・・変速位置が後進

・・・チョークレバの調節

・・・燃料給油レベル上限

・・・燃料給油レベル下限

・・・ギヤーオイル

・・・ガソリン燃料

O ・・・燃料コック「開」

C ・・・燃料コック「閉」

は　じ　め　に

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は「ＴＲ60-70」取扱説明書の補足説明書になっていますので
「ＴＲ60-70取扱説明書」と併用してお読みください。一部異なります。
製品の正しい取扱方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。
ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。
また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安　全　第　一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険：注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことになるものを表示します。

⚠ 警告：注意事項を守らないと死亡または重傷を負う危険性があるものを表示します。

⚠ 注意：注意事項を守らないとけがを負うおそれがあるものを示します。

重　要：注意事項を守らないと損傷や故障の恐れがあります。

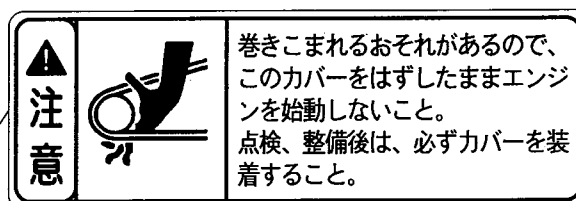
補　足：その他、使用上役立つ補足説明をしています。

目次

⚠ 安全に作業するために

警告ラベルとその取扱い

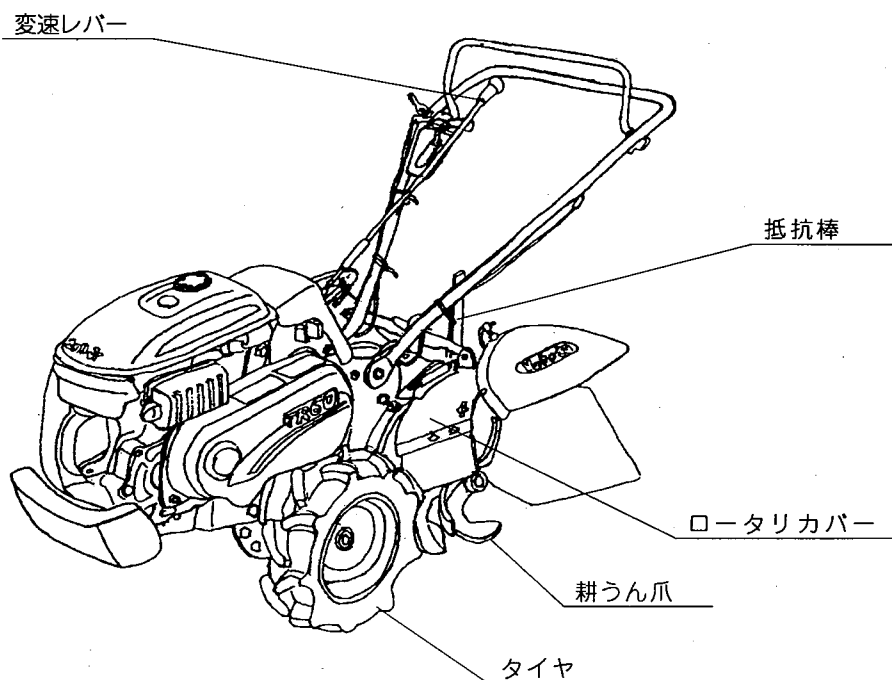
【ラベルのメンテナンス】
（1）警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
（2）警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
（3）新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取り乾いた面にして元の位置に貼ってください。

品番　60932-48251

品番　62451-28111

安全に作業するために

警告ラベルとその取扱い

1　もうおぼえられましたか？　●各部の名称と装置の取扱い

（TR60・70の取扱説明書も合わせてご覧下さい）

■変速レバー

変速操作は主クラッチ「切」でおこないます。

⑴変速は前進２段、後進１段です。

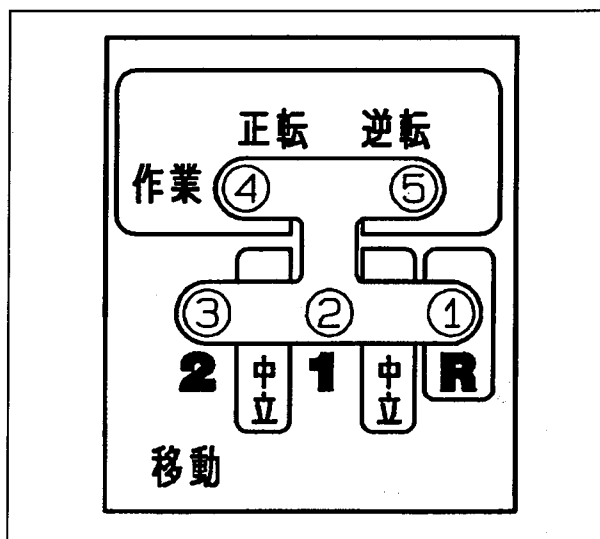
⑵ロータリは前進１段で「正転」・「逆転」です。

①の位置　　後進します。耕うん爪はまわりません。

②の位置　　低速で前進します。

③の位置　　高速で前進します。

④の位置　　低速で前進し、耕うん爪が正転します。

⑤の位置　　低速で前進し、耕うん爪が逆転します。

⚠ 警　告

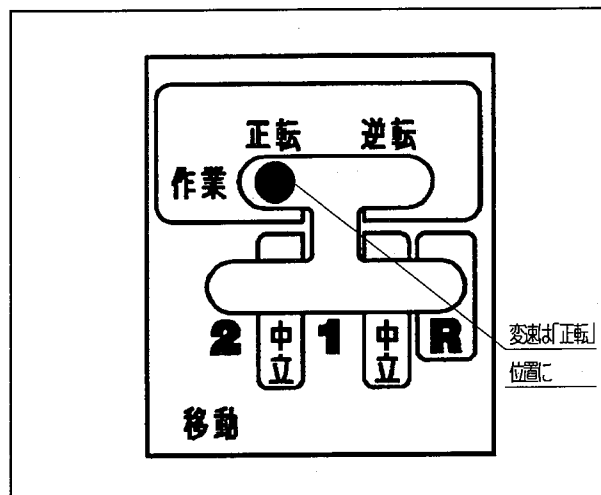
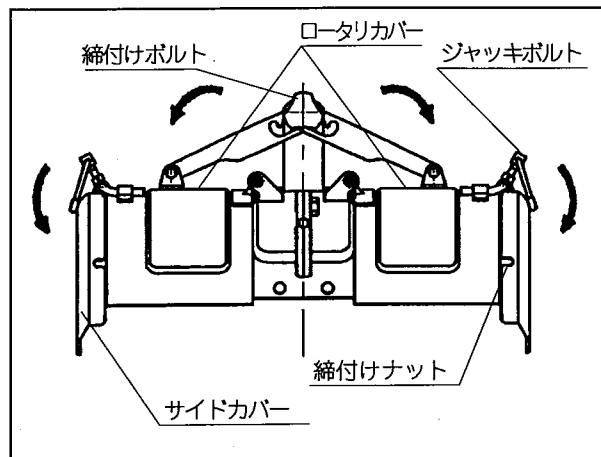
●エンジンを始動する前に、必ずレバーを「中立」にしてください。

4 こんなときどうする？　●簡単な手入れと処置

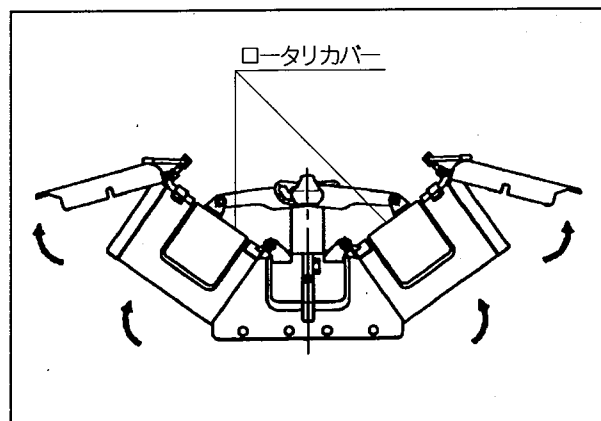
■耕うん

(1)爪軸を耕うんの向きに取付けてください。（6ページ参照）

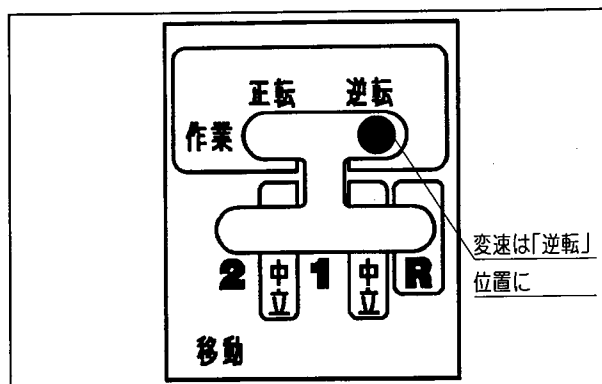
(2)締付けボルトを緩めてロータリカバーを水平までさげます。次に締付けボルトで充分に固定してください。
サイドカバーはジャッキボルトを緩めて下まで下げます。次に締付けナットとジャッキボルトで固定してください。

(3)ロータリ「正転」で作業を行ってください。

■うね立て

(1)爪軸をうね立て作業の向きに取付けてください。（6ページ参照）

(2)締付けボルトを緩めてください。ロータリカバーを用途に合わせて調節してください。サイドカバーはジャッキボルトで調節してください。

(3)ロータリは「逆転」で作業を行ってください。

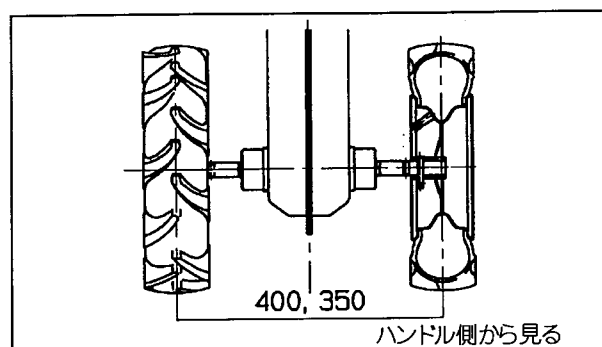
⚠ 警 告

●爪軸、カバー調節時は、エンジンを必ず停止してください。

■車輪幅の調節のしかた

作業にあわせて車輪幅を調節してください。

ピン穴位置により調節できます。

⚠ 警 告

●車輪幅の調節時は、エンジンを必ず停止してください。

■抵抗棒位置の調節

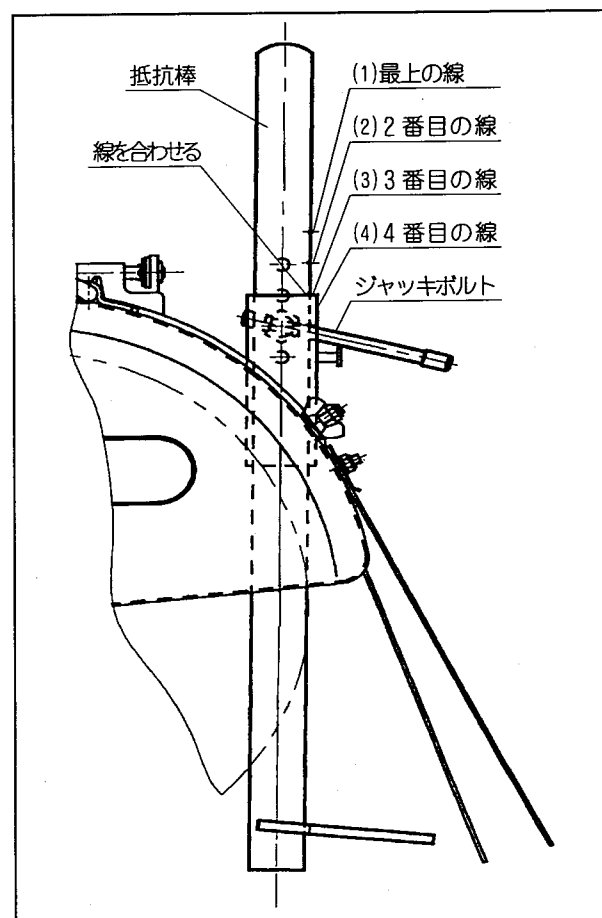
抵抗棒は、耕深を決める装置です。圃場の硬さや必要な耕深によって調節してください。調節は、ジャッキボルトをゆるめ抵抗棒の後部の線をカバー上端に合わせジャッキボルトを締め上げます。

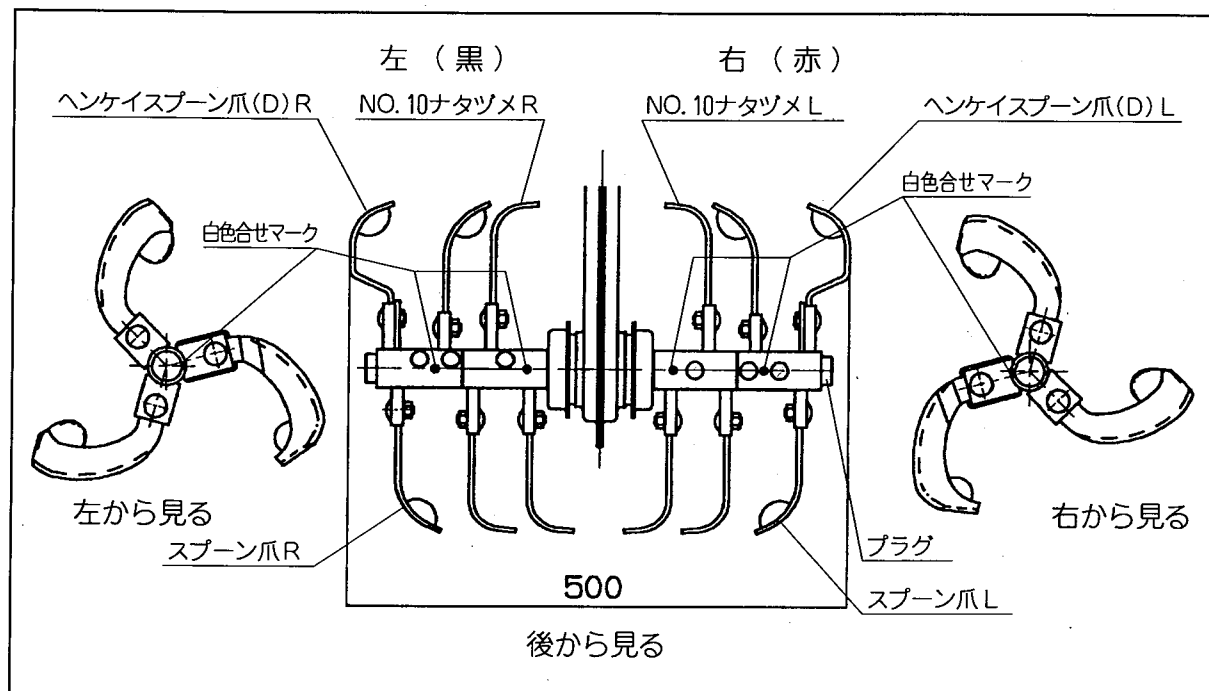
(1)最上の線 ---------- 機械がもぐる時(ロータリ逆転)
(2)2番目の線------ 浅く耕したい時(ロータリ正・逆転)
(3)3番目の線------ 標準です。　(ロータリ正・逆転)
(4)4番目の線------ 深く耕したい時(ロータリ正転)

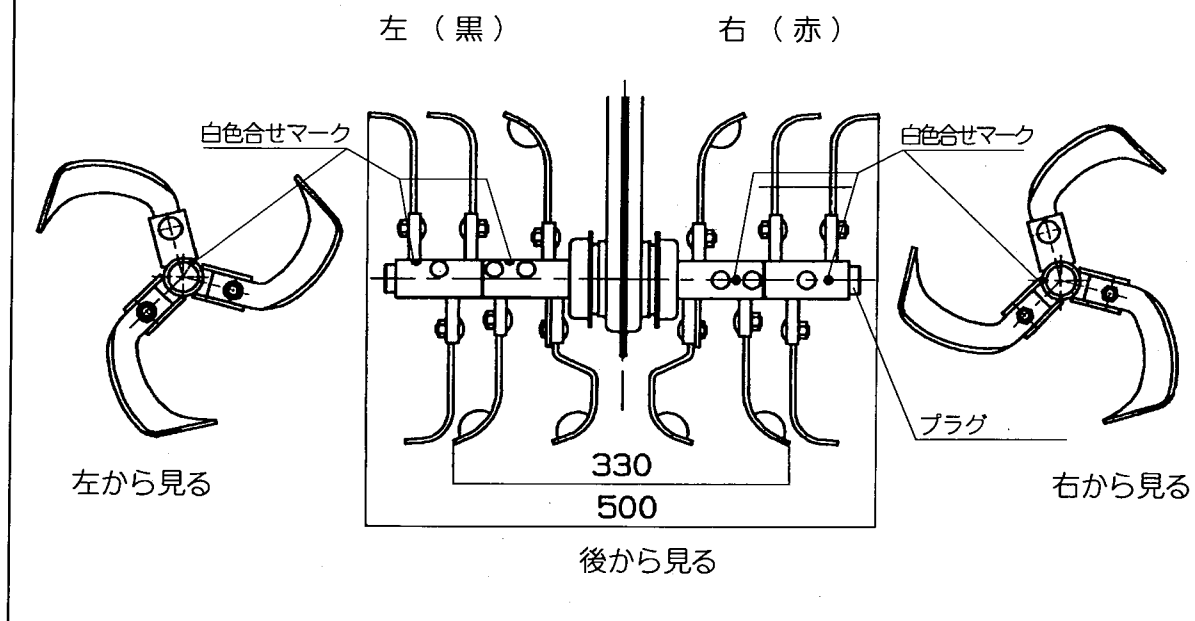
重 要

●調節後はジャッキボルトを確実に締めてください。

⚠ 警 告

●抵抗棒の調節時は、エンジンを必ず停止してください。

爪軸の取付け方

■耕うん(出荷時の取付)

■うね立て

爪を外さないで、爪軸だけを内外入れ替えてください。

4 こんなときどうする？　●簡単な手入れと処置

●爪の内外の向きをまちがえないようにしてください。

●耕うんとうね立ての爪の向きを変えるには、爪を外さないで、
爪軸を内外入れ替えてください。

●爪軸に泥が入らないようにプラグをつけております。
かならず取付けてください。

●作業前には爪の取付けボルト・ナットに緩みがないか確認し、
増し締めをしてください。

●爪を交換後は、ボルトを確実に締めてください。

⚠ 警告

●爪の交換時、また爪軸の取付け、取外し時は
必ずエンジンを停止してください。
●サイドカバーを外した時は、危険ですから必
ず取付け、ボルトを確実に締付けてください。

付記・主要諸元・主な消耗部品一覧表・標準付属品

主　要　諸　元

型式名				TR60－U
機体寸法	全長	mm		1450
	全幅	mm		570
	全高	mm		1060
質量（重量）		kg		100
エンジン	名称			GH170-1-E-TR2-KN
	種類			空冷４サイクルＯＨＶガソリンエンジン
	出力／回転速度	kW/min^{-1} (PS/rpm)		2.9/1600 (4.0/1600)
	最大出力	kW(PS)		4.0(5.5)
	総排気量	cm^3(cc)		169
	始動方式			リコイルスタータ
	使用燃料			自動車用レギュラーガソリン
	燃料タンク容量	ℓ		2.0
	エアクリーナ方式			湿式エアクリーナ
タイヤ				3.50-7
主クラッチ方式				ベルトテンション
操向クラッチ方式				なし(デフ装置付)
変速段数				F2･R1
ロータリ	駆動方式			センタードライブ
	耕うん幅	mm		500, 330
	爪回転径	mm		330
	耕うん軸形状			丸軸(φ29)
	変速段数			正転１・逆転１
	耕うん爪数		右	スプーン爪２、変形スプーン爪Ｄ１ NO.10耕うん爪３
			左	スプーン爪２、変形スプーン爪Ｄ１ NO.10耕うん爪３
	爪軸回転速度／エンジン回転速度 min^{-1} (rpm)			正転251/1600 逆転281/1600

付記・主要諸元・主な消耗部品一覧表・標準付属品

標準附属品

品名	数量/台	備考
ドライバ	1	(プラス)
プラグボックス	1	
取扱説明書	1	TR60・70
取扱説明書	1	TR60-U
保証書	1	

主な消耗品一覧表

○本機関係

品名	品番	数量	備考
VベルトSB36	60711-13120	1	
ケーブル(シュクラッチ)	60711-22120	1	
ケーブル(デフロック)	60711-22140	1	
ケーブル(スロットル)	60711-22240	1	
シャジクピン	61141-17130	2	タイヤ取付用
スナッピン8(Bカタ)	05516-5080	2	〃
マルピンM10	91201-36430	6	爪軸取付用
スナップピン	05515-51000	6	〃
オイルシール	60711-12960	2	車軸
オイルシール	92201-17490	2	耕うん軸
変形スプーン爪(D)L	60724-32170	1	
変形スプーン爪(D)R	60724-32180	1	
スプーン爪L	91201-23570	2	
スプーン爪R	91201-23580	2	
NO.10ナタ爪L	60724-32150	3	
NO.10ナタ爪R	60724-32160	3	
ツメトリツケボルト	91201-11470	12	
ロッカクナット	02118-50100	12	
バネザガネ	04512-50100	12	

○エンジン関係

品名	品番	数量	備考
スパークプラグ	13902-67710	1	
フィルターエレメント	E3131-43160	1	
エアクリーナーパッキン	12643-11300	1	
エアクリーナーエレメント	EG424-11080	1	

株式会社クボタ

株式会社クボタ

機械札幌事務所	電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目1番1号
機械東日本事務所	電(048)862-1121	〒338-0832	さいたま市西堀5丁目2番36号
機械西日本事務所	電(072)241-8506	〒590-0806	堺市緑ヶ丘北町1丁目1番36号
機械福岡事務所	電(092)606-3161	〒811-0213	福岡市東区和白丘1丁目7番3号

クボタ機械サービス株式会社

本社営業技術部	電(072)241-8092	〒590-0823	堺市石津北町64番地
北海道営業技術推進部	電(011)662-2121	〒063-0061	札幌市西区西町北16丁目1番1号
秋田営業技術推進部	電(018)845-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部	電(022)384-5162	〒981-1221	名取市田高字原182番地の1
東京営業技術推進部	電(048)862-1588	〒338-0832	さいたま市西堀5丁目2番36号
新潟営業技術推進部	電(025)285-1263	〒950-0992	新潟市上所上1丁目14番15号
金沢営業技術推進部	電(076)275-1121	〒924-0038	松任市下柏野町956-1
名古屋営業技術推進部	電(0586)24-5111	〒491-0031	一宮市観音町1番地の1
大阪営業技術推進部	電(072)241-8551	〒590-0806	堺市緑ヶ丘北町1丁目1番36号
米子営業技術推進部	電(0859)33-5011	〒683-0804	米子市米原7丁目1番1号
岡山営業技術推進部	電(086)279-4511	〒703-8216	岡山市宍甘275番地
高松営業技術推進部	電(087)874-5091	〒769-0102	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3
福岡営業技術推進部	電(092)606-3725	〒811-0213	福岡市東区和白丘1丁目7番3号
熊本営業技術推進部	電(096)357-6181	〒861-4147	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1

株式会社クボタアグリ東日本

東北系統推進部	電(018)845-1601	〒011-0901	秋田市寺内字大小路207-54
関東・甲信越系統推進部	電(048)862-1124	〒338-0832	さいたま市西堀5丁目2番36号

株式会社クボタアグリ西日本

中部・近畿系統推進部	電(072)241-8550	〒590-0806	堺市緑ヶ丘北町1丁1番36号
中四国系統推進部	電(087)874-5091	〒769-0102	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3

株式会社クボタアグリ九州

九州系統事業推進部	電(092)606-3166	〒811-0213	福岡市東区和白丘1丁目7番3号

本　社　大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号　〒556-8601

製造元 **関東農機株式会社**

本社工場　栃木県小山市大字横倉新田493　TEL 0285(27)3271　FAX 0285(27)4627

品番　60724－43111